

第238回 昭和の森 自然観察会

「秋の里山歩き」3時間コース

綾 富美子(千葉市)

日 時: 2011年10月9日(日) 13~16時 天候: 晴れ

参加者: 54名(子ども6名、大人48名) 指導員 19名

担当指導員: 小林義和、川北紀子、綾富美子

昭和の森自然観察会恒例の3時間コース、今回は昭和の森を抜け、山道を60~70m下り、大網白里町萱野地区の里山風景を楽しんで、再び山道を上り、昭和の森へ帰り着く約10km、アップダウンのある行程です。まず本番前に担当者3人で3回下見を行いました、その結果、昭和の森近くの木のすき間に大きなキイロスズメバチの巣を見つけました、今の繁殖期は非常に攻撃的で、9月10日に一人亡くなつたニュースでも伝えていて危険なので緑公園緑地事務所に連絡して駆除して頂きました。



スズメウリ

本番の10月9日は3連休の中日で天候にも恵まれ多くの方が参加されました。3班に組分けしました。私の担当した班では挨拶方々資料を見ながらコースの説明をしたところ、全員が今日のコースは初めて歩くとの事でしたので、帰りは坂道を上るので、その分余力を残しておいて下さい、とお願いしました。私の頭の中は何とか3時間で全員を昭和の森へ帰り着く様にするとの考えでいっぱいでした。結論から言うと、参加者全員無事に16時5分前に帰り着きました。

スタートした公園の園路沿いは今を盛りとキバナアキギリとヤマハツカが咲いていました。公園を抜けると途端に山道となり、カケスがジーと鳴いていました。下見時に見たフェンスにズラーッとからまるカラスウリに期待をしたのですが、赤い実のカーテンは見られずまだ青い実がわずかに見られるだけでした。ほとんど雄株だったのでしょうか…。しばらく下ると標高60m程の位置にある女ヶ池が見えてきました、荒れ放題で何となく不気味な池です、昔から灌漑用水として利用してきたという池です。池にゴムボートを浮かべて釣りをしている人がいました。釣果はブラックバスとブルーギルでした。更に下ると地層が見える崖が見えてきました。崖からは零が垂れ、その零を集めた穴(横井戸と言われている様です)があり、水をパイプで誘導していて、下の萱野地区へ流していました。横穴の脇にはサワガニ、崖の上にはシダ植物のウラジロ、道端にはスズメウリの白い実がカーテンの様に垂れ下がっていました。

坂道を下ると視界がパアーンと開けました。見下ろす先の右手には赤い鳥居の萱野熊野神社、ミニ棚田風の水田が広がる穏やかな景観の萱野地区です。神社を参拝して神社脇から山路を少し上ると、突き当りの崖から通称「乙女滝」と言われている小さな滝が流れ落ちていました。滝の上部は隠れて見えないので、何段かは見当がつきませんが、見える範囲では3段で3~4mの滝です。この滝の見物が本日の散策の目玉です。

集落を抜け、再び山道をあえぎながら上りきり、山間の田んぼ道を歩きました。途中でアケビの美味しそうな実を見つけましたが、残念ながら見るだけです。田んぼ道を抜け小橋を渡りました。この橋の下を流れる川が小中川です。この先は小中池に注ぎ太平洋へと向かいます。緩い坂を上り右手に下夕田池が見て昭和の森に到着しました。

ふりかえり時に、このコースは春にでも、ぜひゆっくりと歩いて楽しんで頂きたいと伝えました。参加者の感想は、土気に住んで久しいがこの様な道は初めて歩いて良かったとか、稻毛在住で「千葉市政だより」を見て参加したが、またこの様な企画があれば参加したい等、好評のようでした。